**２０２３年７月29日(土)　ベルウィン（あさま）会場**

岸本尚毅

氷室守けふは朝から草を刈り 近藤作子

〇 養蚕の栄へし村の氷室かな 近藤作子

とりどりの麦藁菊を供花とせり 北杜　駿

沢瀉の葉をとび下りて雨蛙 山田真砂年

空濠は空蟬ばかり薄あかり 奥山貞周

山田真砂年

氷室守けふは朝から草を刈り 近藤作子

草茂る虚子の小道に虚子の句碑 神山　洋

片蔭にポストが消えた跡がある 河西志帆

格子戸に転居の知らせ西日濃し 塚田佳都子

〇 千年の松の膚（はだえ）や日の盛り 小倉貴久江

国見敏子

電柱の片蔭この身よぢりをり 小倉貴久江

片蔭の小諸のどこをどう歩き 岸本尚毅

稲穂いま成長痛の揺れの中 山田真砂年

朝羽ふる風を糺して夏の鷹 北杜　駿

〇 大浅間冠りて余す夏の雲 大野田井蛙

北杜　駿

与良どこへ行きても涼し水音かな 山田真砂年

片蔭を貰ひそびれて坂の上 大野田井蛙

浅間山噴火のごとく雲の峰 横山全徳

日盛りにこの身を晒す虚子の道 大野田井蛙

〇 的を射るをみなの腕沙羅の花 大木満里

塚田佳都子

土用風入れてこゑなき大手門 小倉貴久江

〇 片蔭にポストが消えた跡がある 河西志帆

水音は弛まぬ祈り岩清水 北杜　駿

小心にして大の字に昼寝かな 岸本尚毅

かの山の火のはらわたや雲の峰 岸本尚毅

小倉貴久江

格子戸に転居の知らせ西日濃し 塚田佳都子

峰よりのあをなだらかやひめぢよをん 大木満里

〇 草茂る虚子の小道に虚子の句碑 神山　洋

石二つかさね野仏昼の虫 近藤作子

大浅間冠りて余す夏の雲 大野田井蛙

大野田井蛙

石仏に泪の跡や蟬しぐれ 塚田佳都子

石二つかさね野仏昼の虫 近藤作子

千年の松の膚（はだえ）や日の盛り 小倉貴久江

暮れ泥む城址を統ぶる蟬しぐれ 神山　洋

〇 眼の形くつきり残し蛇の衣 横山全徳

神山　洋

片蔭を貰ひそびれて坂の上 大野田井蛙

片蔭にポストが消えた跡がある 河西志帆

いくすぢも日矢の遊べる捨氷室 国見敏子

〇 病葉の積もる風穴トタン屋根 近藤作子

空堀の実に深々ほととぎす 横山全徳

奥山貞周

氷室守けふは朝から草を刈り 近藤作子

〇 いくすぢも日矢の遊べる捨氷室 国見敏子

沢瀉の葉をとび下りて雨蛙 山田真砂年

稲穂いま成長痛の揺れの中 山田真砂年

朝羽振る風を糺して夏の鷹 北杜　駿

横山全徳

〇 土用風入れてこゑなき大手門 小倉貴久江

石二つかさね野仏昼の虫 近藤作子

大浅間冠りて余す夏の雲 大野田井蛙

雲の峰微動だにせず風見鶏 山田真砂年

水音の著き町なり麻のれん 塚田佳都子

大木満里

土用風入れてこゑなき大手門 小倉貴久江

〇 片蔭の小諸のどこをどう歩き 岸本尚毅

片蔭にポストが消えた跡がある 河西志帆

水音の著き町なり麻のれん 塚田佳都子

氷河期の花の一輪氷室山 横山全徳

近藤作子

格子戸に転居の知らせ西日濃し 塚田佳都子

草茂る虚子の小道に虚子の句碑 神山　洋

〇 与良どこへ行きても涼し水音かな 山田真砂年

電柱の片蔭この身よぢりをり 小倉貴久江

眼の形くつきり残し蛇の衣 横山全徳

河西志帆

かの山の火のはらわたや雲の峰 岸本尚毅

氷室守けふは朝から草を刈り 近藤作子

くちなはと知らず生まれてしまひけり 国見敏子

〇 片蔭を貰ひそびれて坂の上 大野田井蛙

小心にして大の字に昼寝かな 岸本尚毅